

入札とプロポーザルの違いについて

参考資料1

| | 入札方式 | プロポーザル方式 |
|-----|--|--|
| 概略 | 経費削減の観点から、金額のみで業者を選定する。 | 業者の実績・安全・衛生・食育の取組・人員配置・危機管理・金額等業務内容をどのように対応できるか総合的に評価し、業者を選定する。 |
| 流れ | 仕様書交付→質問受付・締切→入札→業者決定 | 仕様書交付→説明会(現地視察含む)→質問受付・締切→提案書受付・締切→1次選考(書類審査)→2次審査(プレゼンテーション)→業者決定 |
| 利点 | ① 価格重視の選考の場合に向いており、価格をより安く抑えることが出来る。 | ① 業務実績や運営能力を重視した選考の場合に向く。 |
| | ② 業者決定までの時間がプロポーザル方式と比べて短い。 | ② 金額と提案の総合評価で事業者を決定するので、受託後の実施方法とのギャップが生じにくい。 |
| | | ③ 複数の選定委員による審査を行うため、様々な視点から検討することが出来る。 |
| 留意点 | ① 金額のみで業者を選定するため、受託後の実施方法とのギャップが生じやすい。 | ① 入札と比べて、金額が高くなる傾向がある。 |
| | | ② 業者の選定に、入札と比べ時間がかかる。 |